

## 通学路総点検を実施しました



品川区では、各学校の通学路の安全・安心を確保していくための取組として、3年に1回という割合で「通学路総点検」という取組を、区教委・本校 PTA・区役所道路管理担当・品川警察署・町会関係の各皆様にお集まりいただき、22日(水)に実施しました。

本来であれば、学区全域をくまなく点検することが理想ではありますが、限られた時間の中で、まずは点検箇所をしっかりと見直すという視点から、現時点で特に気になる3か所を選び、そこを重点的に見直すことにしました。

点検した所は、学校の裏手の三叉路、山手通りと八ッ山通りの大きな交差点、八ッ山通りの横断歩道(台場交番交差点より山手通り寄りにある横断歩道のある場所)です。

三叉路は、狭い道路のわりに交通量が多く、しかも道路が直線ではないため視覚不良であり、児童との接触が懸念されている場所です。構造的な問題もあり、具体的かつ効果的な手が打ちにくい場所ではありましたが、まずは、歩道や停止線などのラインの引き直しから始めていこうという話になりました。

大きな交差点は、交通量が多く、特に山手通りから八ッ山通りへの右左折車に対して歩行者に注意を促したいという話になりました。「歩行者・横断者に注意」の看板が古くなり、よく見えなくなっていたので、まずは取り換えることをしようということになりました。

八ッ山通りの横断歩道に向かったT字路(商店街からの抜け道)は、T字路側から八ッ山通りに下ってくる自転車と歩道を歩く児童との接触が多くある場所ということで、丁寧に点検をしました。理由はわかりませんが、T字路から歩道に向かう直前の場所に停止線がないということが明らかになり、ここは早速ラインを引く方向で検討を進めていただくことになりました。

関係各所管の方々に来ていただいた会でしたが、道路行政と一言で言っても、実は事はそれほど単純ではないということもわかりました。道路にラインを引く、安全を促す看板を設置する、横断歩道を引き直す、例えばこのような作業をする所管は、一つではないということなのです。警察が担当するもの、区の担当課の領域、中にはその場にはない東京都に依頼するものなど、複雑な担当分担があるようなのです。だからこそ、一つの学校に対し3年間で1回の会なのですが、集まる意味は間違いなくあると思いました。

まちの道路整備は必要ですが、そこを利用する側の交通安全の意識も、さらに向上させる必要があります。ご家庭でも、交通安全について話題にしてみてください。